

# VISION

## 展望 2023



—2023年度に新しい中期経営計画が始まります。「社長就任以降、6年間で行った2回の中

三井住友ファイナンス&リース社長

### 橋 正喜氏

## 新中計海外事業を強化

計をホップ、ステップと陣立てがそろった。出資する英国のS Mとするならば新中計は「ジャンプに位置付け 必要なのは。BCリーディング(U K)を活用した社会イ ズの経営統合やS 「21年8月に始めた ンフラ事業、ケネディ G Eとの経営統合やS 不動産セキュリティ クスなど連携したア M F L みたいなパートナ トークンなど当社の優 ジアでの不動産投融資 ーズの設立、ステップ 良資産を用いたアセツ ビジネスを拡大してい では新しい企業理念体 トの回転型ビジネスを く」系の発表やケネディク 成長のドライバーとし 「デジタル変革(D ス、ゴスホークを買収 て育てたい。海外事業 X ビジネス強化も欠 し、ジャンプに向けた も強化する。(30%を かせません。

「旧日本GEにいた トによる業務自動 DX部隊は現在60人 を 化、営業ツールの開 超えた。社内業務効率 発が進んだ。それらの 化につながるR P A 外販ビジネスの拡大も (ソフトウェア) ロボツ 次期中計の柱となる」

### ビジョン実現 カギ

#### 記者の目

橋正喜社長は20年4月、新理念体系を策定した。その中で示したデジタル先進企業など四つのビジョンの実現に向け、まいた種をどう育てて実を付けるのが新中計のポイントだ。その行き着く先が30年度に経常利益2000億円超の実現となる。

(編集委員・水嶋真人)